

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内において、9月24日時点で報告された新型コロナウイルスの感染者は114名となっており、8月23日以降新たな感染者は確認されていません。全国では継続して感染者が確認されていますので、県民の皆様には引き続きマスクの着用やこまめな換気と手洗いを心がけ、『①うつらないよう自己防衛！ ②うつさないよう周りに配慮！ ③習慣化しよう3密回避！』の実践をお願いします。また、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある場合は「帰国者・接触者相談センター（089-909-3483）」に連絡してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



発生動向の概況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第37週1.1人、第38週1.1人と横ばいで推移しています。地域別にみると、中予保健所でやや多い状態です。感染予防のため、外出後のうがい、手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第37週3.6人から第38週2.9人と減少しました。調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン（エプロン）、手袋、マスクを着用しましょう。

日本紅斑熱の届出が1例（松山市保健所管内在住）ありました。この疾患は、マダニが媒介する感染症で、早期に適切な治療を受けることが極めて重要です。野山に出かけた後に発熱や発疹などの症状が出たら、速やかに医療機関を受診しましょう。野山や畑、草むらなどに入る場合は、肌が露出しない服装（長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋等の着用）を心がけ、マダニに効果のある防虫スプレー（ディート含有）を使用するなど、マダニに咬まれないよう十分注意しましょう。また、野山等での作業後は入浴し、付着したダニを洗い流しましょう。咬まれていた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科等）で処置してもらいましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二類感染症：結核 9例
- 三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2例（O157：10歳未満男性、70歳代女性）
- 四類感染症：日本紅斑熱 1例（70歳代女性） レジオネラ症 1例（60歳代女性）
- 五類感染症：アメーバ赤痢 1例（80歳代女性）
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例（10歳未満女性）

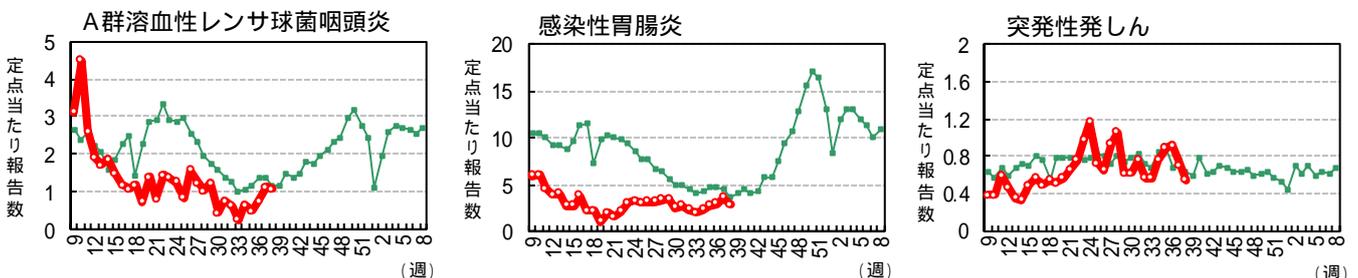
定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数）

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 1.1	横ばい。中予保健所でやや多い。
感染性胃腸炎	↘ 2.9	減少。
突発性発疹	↘ 0.5	減少。

解析評価委員のコメントから

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：[東予] 前回と同様に、みられています。 [中予] 横ばいです。
- 感染性胃腸炎：[東予] 重症は少ないですが、みられています。 [中予] 減少。
[南予] 発生はありますが減少傾向です。
- 突発性発疹：[東予] 変わらずみられています。 [中予] やや減少。

過去30週の動向（：過去30週の動向、：過去10年の平均）



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

感染症流行予測調査事業の1つであるブタの日本脳炎ウイルス抗体調査の結果を右表に示しています。9月8日採血分のブタのHI抗体陽性率は30%（10例中3例）、9月15日採血分は80%（10例中8例）でした。なお、9月8日の陽性例のうち1例、9月15日の陽性例のうち3例については、最近の感染を示す2ME感受性抗体でした。今年度の本調査はこれで終了です。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体 ¹⁾ 陽性数	2ME感受性抗体 ²⁾	
			検査件数	陽性数
7月 7日	10	0	-	-
7月 13日	10	7(70%)	7	1
7月 28日	10	0	-	-
8月 4日	10	0	-	-
8月 17日	10	4(40%)	4	4
8月 26日	10	10(100%)	10	0
9月 8日	10	3(30%)	3	1
9月 15日	10	8(80%)	8	3

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性としました。

2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

第34週に松山市で採取された咽頭結膜熱患者検体からライノウイルスが1例検出されました。

第35週に中予で採取された細菌性髄膜炎患者検体からメチシリン耐性黄色ブドウ球菌が1例検出されました。

過去5週 検出病原体

(2020年8月17日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
34	8/17~8/23	松山市	咽頭結膜熱	ライノ	咽頭ぬぐい液	1
35	8/24~8/30	中予	細菌性髄膜炎	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	髄液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2020						合計
検出病原体		4	5	6	7	8	9	
ウイルス	ライノ					1		1
	ウイルス計					1		1
細菌	A群溶レン菌				1	1		2
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌			1		1		2
細菌計				1	1	2		4

臨床診断別検出結果(2020年7月以降採取検体)

検出病原体	咽頭結膜熱	A群溶レン菌咽頭炎	細菌性髄膜炎	合計
ライノ	1			1
ウイルス計	1			1
A群溶レン菌		2		2
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌			1	1
細菌計		2	1	3

注) 表中の検出数は9月23日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2020年 第37週 (2020.9.7 ~ 9.13)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点										
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)			
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)		
患者報告数																										
保健所別	四国中央						11	2						1	-	-									四国中央	
	西条					10	33	2	1		5					2									西条	
	今治				1	3	1			2	7	3				4									今治	
	松山市					7	71	1			8	1				2		-	-	-	-	-	-	-	松山市	
中予	中予					22	5	1		1	3	1													中予	
	八幡浜						7		1		3	2			1										八幡浜	
宇和島	宇和島						5					1													宇和島	
	愛媛県				1	42	133	6	4	1	26	8	1		9										愛媛県	
週推移	1週前				5	28	108	3	2		34	7	4		10										1週前	
	2週前				8	18	103	6	2	1	33	6	2		9			1							2週前	
	3週前				7	24	88	6	3		28	5	5		5										3週前	
年齢別	0-5ヶ月						1				1														0	
	6-11ヶ月						8				3	1													1-4	
	1					2	14		2		18	2													5-9	
	2					6	9				3	2													10-14	
	3					3	20				1	2	1		1										15-19	
	4				1	2	4	1	1	1															20-24	
	5					5	6	1	1																25-29	
	6					4	12	1																	30-34	
	7					3	10																			35-39
	8					3	10																			40-44
	9					2	8																			45-49
	10-14					11	20	3					1			1										50-54
	15-19						2									1										55-59
	20-29 ⁵⁾					1	9									3										60-64
30-39																									65-69	
40-49																									70-	
50-59															1											
60-69																										
70-79 ⁶⁾															2											
80-																										

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-			3.7	.7					.3	-	-											四国中央
	西条	-	-		1.7	5.5	.3	.2		.8				2.0											西条
	今治	-	-	.2	.6	.2		.4		1.4	.6			4.0											今治
	松山市	-	-		.6	6.5	.1			.7	.1			.7			-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予	中予	-	-		5.5	1.3	.3		.3	.8	.3														中予
	八幡浜	-	-			1.8		.3		.8	.5			1.0											八幡浜
宇和島	宇和島	-	-			1.3					.3														宇和島
	愛媛県	-	-	.0	1.1	3.6	.2	.1	.0	.7	.2	.0		1.1											愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点	数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は9月16日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2020年 第36、37週 (2020.8.31 ~ 9.13)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)	3)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4)
愛媛県				.1	.8	2.9	.1	.1		.9	.2	.1		1.3					
近畿圏	香川県			.4	.4	3.4	.1	.1		.7	.4	.1		.2					
	徳島県		.1	.0	.2	2.4				.7				.3					
	高知県		.0	.1	.5	1.3	.2	1.4	.1	.2	.1	.0						.4	
36週	全国	.0	.1	.2	.6	1.9	.1	.2	.0	.5	.4	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.1	.0
週	北海道		.0	.3	.8	.8	.1	.1		.4	.2	.1		.4				.0	
	東北		.0	.2	.8	1.5	.1	.1	.0	.6	.1	.0		.2	.0	.0	.0	.1	
	関東		.0	.1	.4	2.0	.1	.1	.0	.5	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.0	
	甲信越北陸			.2	.5	2.1	.1	.1	.0	.5	.1	.1		.1				.1	.0
	東海	.0	.0	.1	.3	1.5	.1	.0	.0	.4	.1	.0	.0	.2	.1	.0	.0	.1	
	近畿	.0		.2	.4	1.9	.1	.1	.0	.5	.3	.1		.2	.0	.1	.0	.0	
	中国四国		.1	.2	.6	2.4	.1	.3	.0	.5	.8	.0		.3			.0	.1	
九州沖縄	.0	.3	.2	1.2	2.5	.1	.4	.0	.6	1.7	.1		.2		.0	.0	.1		

(9.9集計)

愛媛県			.0	1.1	3.6	.2	.1	.0	.7	.2	.0		1.1					
近畿圏	香川県		.0	.1	.2	3.8	.1	.0		.6	.3	.1						
	徳島県			.1	.0	2.5	.1			.4	.0	.0		.8				.1
	高知県			.1	.5	1.0	.1	1.5	.1	.4	.1	.1						.3
37週	全国	.0	.1	.2	.6	1.9	.1	.1	.0	.5	.4	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.1
週	北海道			.3	.6	.7	.1	.1		.3	.3	.0		.3			.0	.0
	東北		.0	.2	.6	1.5	.1	.1	.0	.6	.2	.0		.1				.1
	関東	.0	.0	.1	.4	1.9	.1	.1	.0	.6	.1	.1		.3	.0	.0	.0	.1
	甲信越北陸			.2	.5	2.0	.2	.2	.0	.5	.1	.1	.0	.1			.0	.1
	東海			.1	.4	1.5	.1	.1	.0	.4	.1	.1		.2			.0	.1
	近畿	.0	.0	.3	.5	1.9	.1	.1	.0	.4	.4	.0		.2				.0
	中国四国		.0	.1	.5	2.3	.1	.2	.0	.5	.8	.1	.0	.4				.1
九州沖縄	.4	.2	1.1	2.4	.1	.3	.0	.6	1.0	.1	.1		.1		.0	.0	.1	

(9.16集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

